

## 2-4 東北大学における地殻変動連続観測（ひずみと傾斜，1984年4月まで男鹿と北阿武隅地殻変動観測所における結果）

### Continuous Observation of Crustal Movement

### (Strain and Tilt in the OGA and KTA Observatories until April 1984)

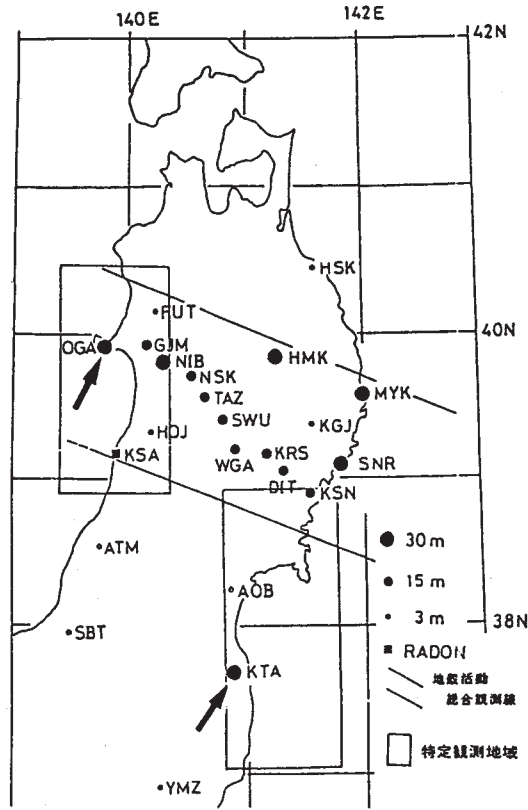
東北大学 理学部  
Faculty of Science, Tohoku University

日本海側の男鹿（OGA）と太平洋側の北阿武隅（KTA）での（第1図）ひずみと傾斜観測結果について報告する。第2図はOGAにおける伸縮計による観測結果である。1982年以前の結果は既に報告<sup>1)</sup>されている。第3図はOGAの水管傾斜計による観測結果から得られた最大下降ベクトルを示している。1983年10月頃からベクトルの方向が反転している。第4図はKTA観測点と双葉断層の位置を示している。水管傾斜計により観測された最大下降傾斜ベクトルを第5図に示してある。観測開始以来南西方向に傾斜している。伸縮計により観測されたひずみ変化を第6図に示してある。第7図は観測開始以来の主ひずみの方向と大きさであり、ほぼ東西方向の圧縮を示している。第8図は第6図に示した各期間のひずみ速度から計算された主ひずみを示している。期間によりひずみ速度の大きさは異なるが各期間とも同じ東西圧縮を示している。

### 参 考 文 献

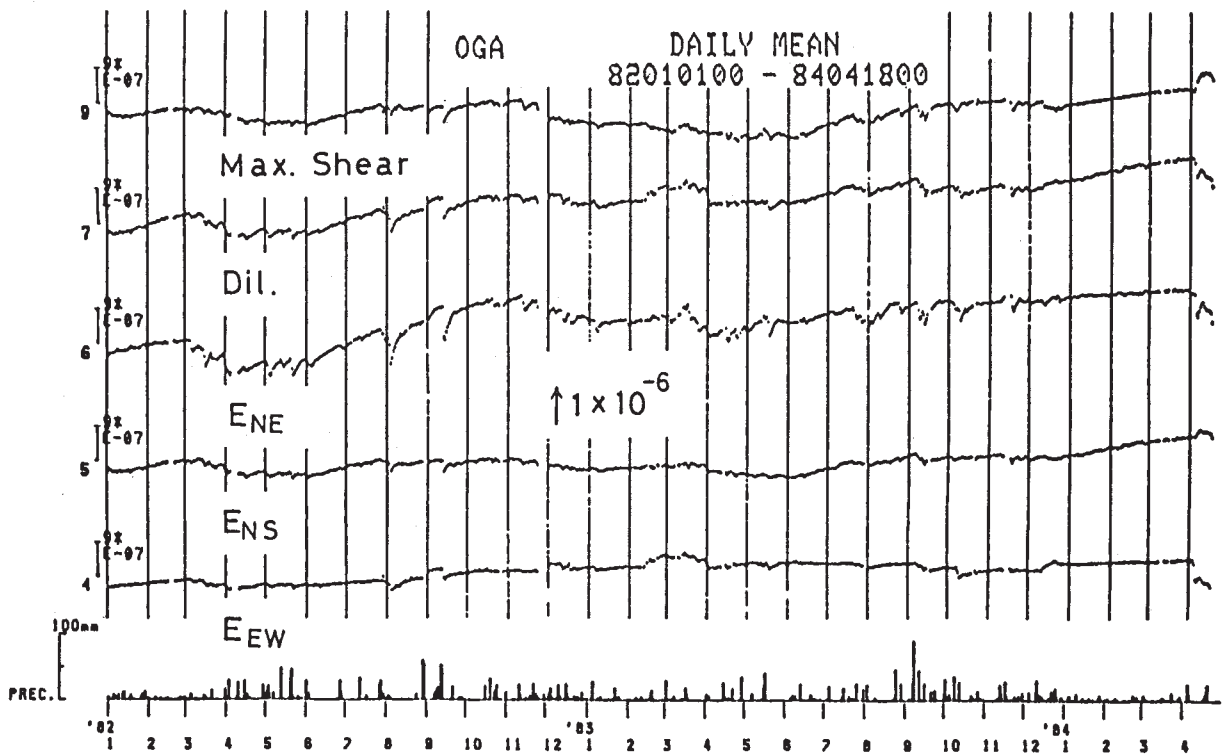
- 1) 東北大学理学部：東北大学における地殻変動連続観測（ひずみ，1981年12月まで及び北阿武隅地殻変動観測所における結果），連絡会報，**29**（1983），29 - 35.

Crustal Movement Observatory



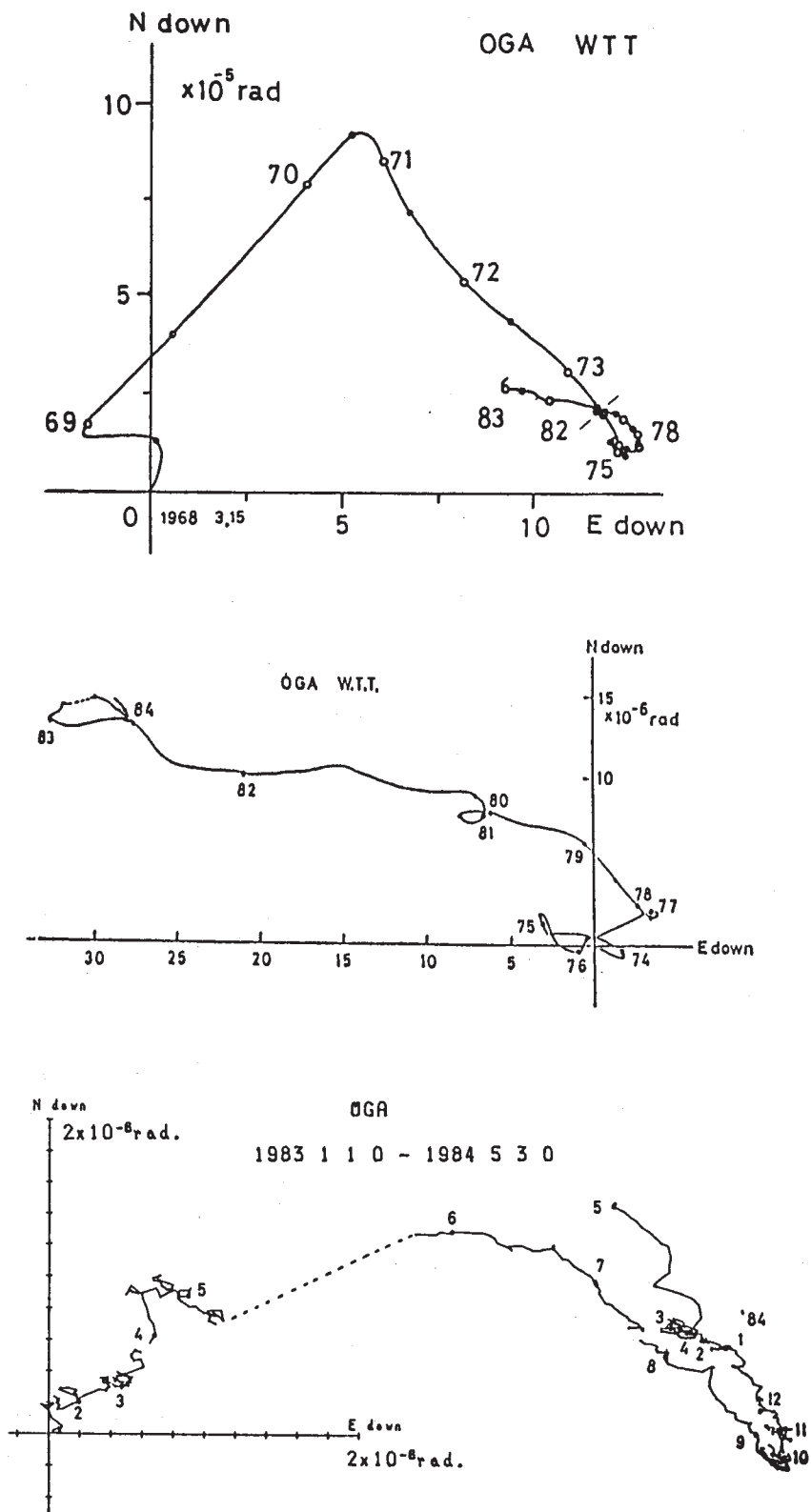
第1図

Fig. 1 Location of observation stations.



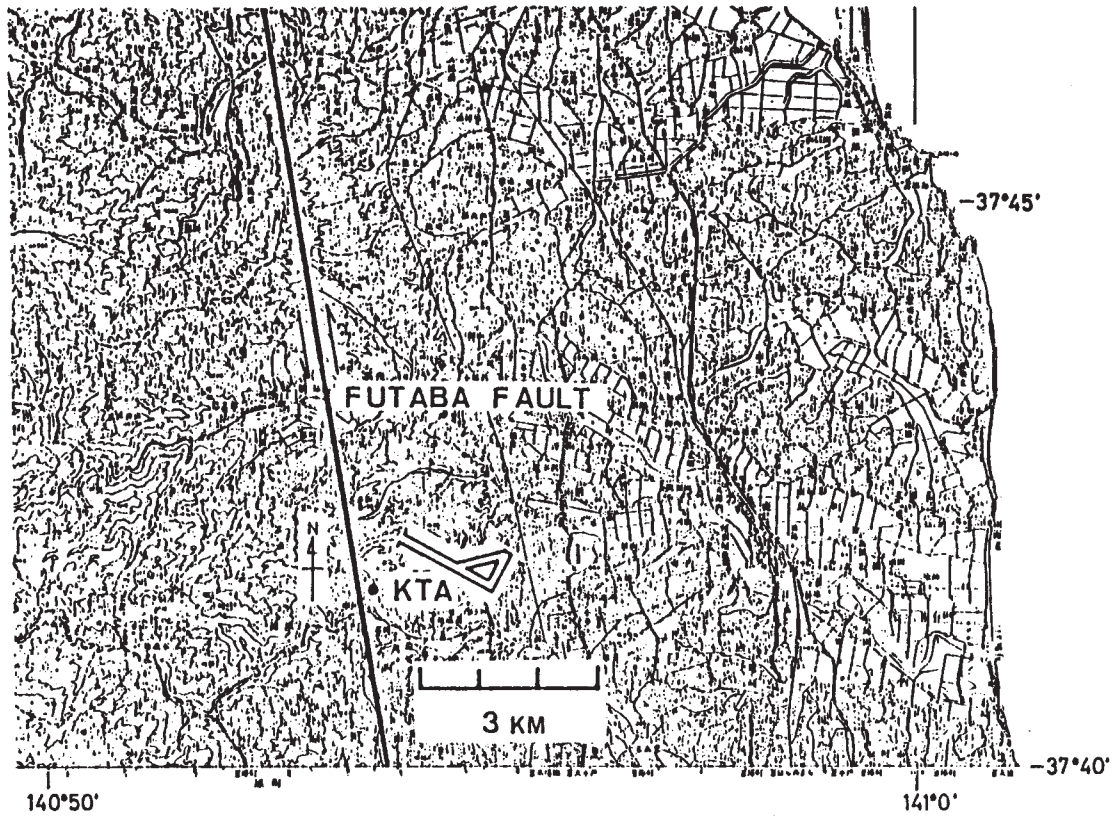
第2図

Fig. 2 Strain variation observed by extensometers in the OGA Station.



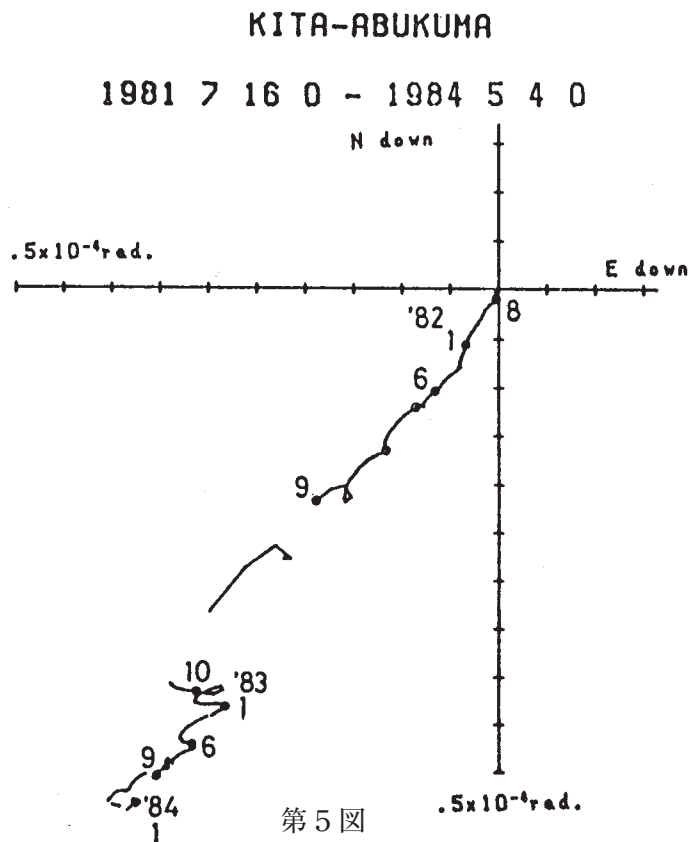
第3图

Fig. 3 Vector diagram of the maximum descending tilt direction observed by water tube tiltmeters in the OGA station.



第4图

Fig. 4 Locations of the KTA station and the Futaba fault.

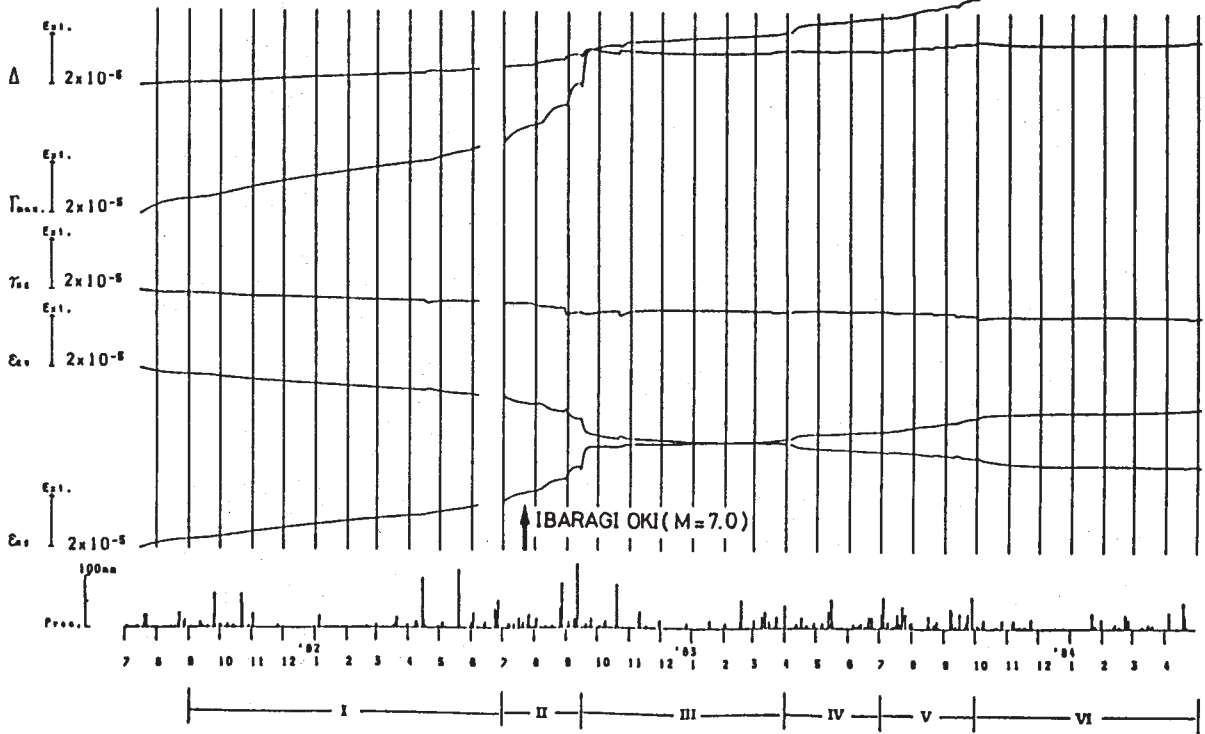


第5图

Fig. 5 Vector diagram of the maximum descending tilt direction observed by water tube tiltmeters in the KTA station.

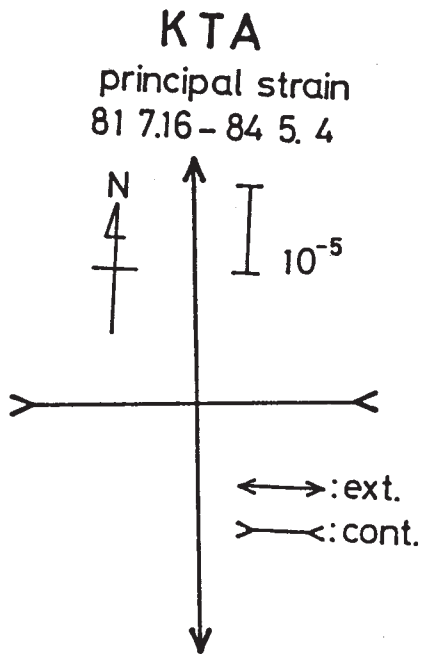
KITA-ABUKUMA

1981 7 16 0 - 1984 5 4 0



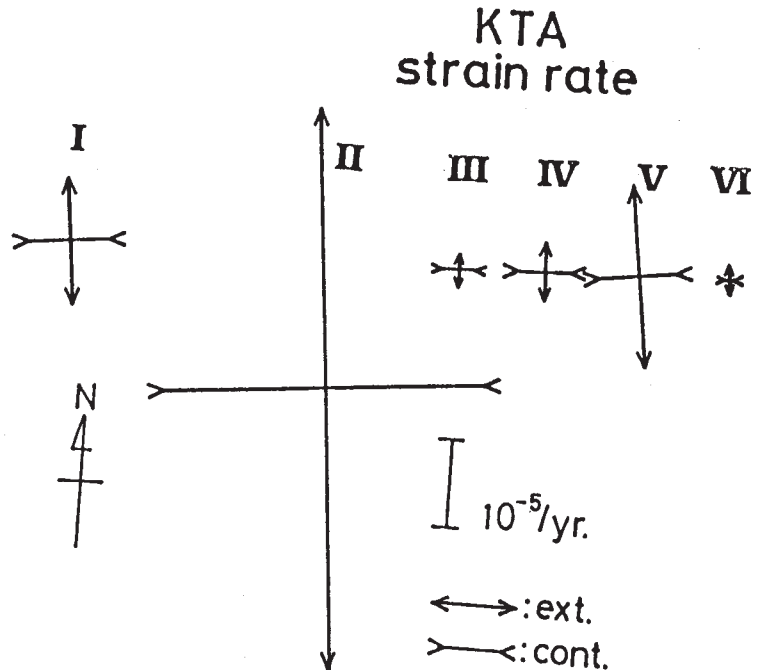
第 6 图

Fig. 6 Strain variation observed by extensometers in the KTA station.



第 7 图

Fig. 7 Principal strain in the KTA station.



第 8 图

Fig. 8 Principal strains computed by strain rates for different six periods shown in Fig. 6.